

《排砂口》

- ・排砂口へは、砂利で舗装された道を移動した。(写真9) ポンプ棟から送り出されたスラリーが通過する配管は、この砂利舗装された道の下を通過しているとのこと。
なお、この道は完成式典用に作られた道であり、工事用車両は通過しないとのこと。
- ・道中にはスピーカーが設置されており、「ポンプが動きます。吐出口に近づかないでください。」というアナウンスが繰り返されていた(当該箇所は陸域から吐出口がある海岸への進入路となっている)。
- ・吐出口付近には注意を促す看板が1つ設置されていた。(写真10)
- ・遠州灘は沖への引き波が強く、全域で遊泳禁止になっているため、そもそも海水浴客を対象にした安全対策はそんなに必要ないとのこと。
たまに訪れるサーファーに対し、注意を促すチラシを配布しており、吐出口に近づく者は少なくなったとのこと。
- ・吐出口付近の砂浜に進入防止のバリケードを設置したことがあるが、すぐ波で流された。
- ・吐出口海側のブイはシラス漁に支障となるため、現在の設置位置より沖側に設置できなかった。(写真11)
- ・吐出口付近には高さ3mほどの浜崖が形成されていた。(写真12)
- ・浜の侵食が進んでいるところもあり、吐出口から300mほど東の地域では、あと3mほどで浜崖が自転車道に達し、被災する危険がある場所もあるとのこと。
吐出口へ続く配管付近も侵食されており、以前は埋まっていた部分が露出していた。(写真13)
- ・侵食が進行している部分の盛土工事を前回の視察に行っており、今回も工事が動いている予定であったが、入札不調で工程が遅れているとのこと(土砂運搬主体の比較的手の挙がる工事と思われるが不落札というのはよほどのことと思われる)。
- ・吐出口からはスラリーが排出されていたが、海面が大きく濁っている様子はなかった。(写真14)
- ・吐出口からのスラリーによる苦情が気になるところであるが、福田漁港ではシラスが有名であるが、漁業関係者の話では濁りがあった方が逆に近寄ってくるのでいいということであった。
- ・試験施工開始後、効果は現れつつあり、天気がよく濁りがなければ吐出口付近の海面下が埋まってきたことが確認できるとのこと。
また、以前は吐出口へ続く配管の下を車で通過することができたが、現在は車で通過することは困難になっている。(写真15)
- ・河口付近の砂の異臭は特に問題になっていない。また、太田川河口で別途行っている浚渫により発生した砂は浅羽海岸東側の侵食崖埋め戻しに利用しており、問題は生じていない。
- ・遠州灘海岸一帯の侵食対策は「遠州灘沿岸侵食対策委員会」で検討しており、当該サンドバイパスシステムによる年間砂輸送量8万m³はこの枠組みの中で決定しており、目標輸送量8万m³を早期に達成しても、この量を増やすことは考えていない。また、他海岸等への当該システムの活用は現時点で考えていない。



(写真9) 砂利舗装道



(写真10) 注意看板



(写真1 1) 吐出口とブイ



(写真1 2) 浜崖形成状況



(写真1 3) 配管露出状況



(写真1 4) 吐出口



(写真1 5) 配管

《現地調査終了後、袋井駅への車内》

- ・ 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステムで使用しているジェットポンプについて、静岡県は特許料を支払っていない。ジェットポンプの購入価格に特許料が含まれている。
- ・ 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステムの動力源として再生可能エネルギーの活用は検討した。しかしながら、採算ベースに乗らないことが判明したため、導入を見送った。
 ※風力発電は、風況調査を行ったものの、風が安定しなかった。
 ※太陽光発電については、期待したほどの発電量が確保できないことが分かった。
- ・ 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステムの効果検証の委員会は、本年度中に立ち上げる。しかし、実績や検討データがないため、今年度1年間システムを動かしてデータを蓄積した上で開催する。

以上

「簡易な移動装置によるサンドバイパス試験工事(その2)」 作業予定表

月日	曜日	作業内容	使用機械
8月4日	月	①廃棄物集積 ②1㎡土のう仮置 ③ホース・パイプ搬入 ④足場材搬入	0.25tBH 4tユニ
8月5日	火	①VP150布設	0.25tBH
8月6日	水	①VP150布設 ②足場組立 ③土のう作成	0.25tBH
8月7日	木	①土のう配管固定 ②ホース配管接続	
8月8日	金	予備日	
8月9日	土		
8月10日	日	盆休みの為、休工。	
8月17日	日		
8月18日	月	予備日	
8月19日	火	①有孔管、ホース類搬入 ②リース品一式搬入(広島) ③集積装置組立	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月20日	水	①集積装置配管接続 ②各資機材配置	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月21日	木	①ジェットポンプ試運転 ②サンドポンプ試運転(ツボ掘り)・最適条件選定	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月22日	金	①サンドポンプ試運転(ツボ掘り)・最適条件選定 ②ウインチ牽引	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月23日	土		
8月24日	日		
8月25日	月	①サンドポンプ試運転(ツボ掘り) ②ウインチ牽引 ③記録	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月26日	火	①サンドポンプ試運転(ツボ掘り) ②ウインチ牽引 ③記録	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月27日	水	①有孔管取付 ②サンドポンプ試運転・最適条件選定	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月28日	木	①サンドポンプ試運転・最適条件選定	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月29日	金	①サンドポンプ試運転・最適条件選定 ②ウインチ牽引	25tラフ 4tユニ 0.45BH
8月30日	土		
8月31日	日		
9月1日	月	①サンドポンプ試運転(ツボ掘り) ②ウインチ牽引 ③記録	25tラフ 4tユニ 0.45BH
9月2日	火	①サンドポンプ試運転(ツボ掘り) ②ウインチ牽引 ③記録	25tラフ 4tユニ 0.45BH
9月3日	水	①サンドポンプ圧送管接続 ②サンドポンプ圧送試験 ③記録	25tラフ 4tユニ 0.45BH 0.25BH
9月4日	木	①サンドポンプ圧送試験 ②記録 試験工事現地視察	25tラフ 4tユニ 0.45BH 0.25BH
9月5日	金	予備日	
9月6日	土		
9月7日	日		
9月8日	月	①資機材撤去 ②排砂作業	25tラフ 4tユニ 0.45BH 0.25BH 10tDT
9月9日	火	①資機材撤去 ②排砂作業	4tユニ 0.45BH 10tDT
9月10日	水	予備日	
9月11日	木	予備日	
9月12日	金	予備日	
9月13日	土	予備日	
9月14日	日	予備日	
9月15日	月	予備日	
9月16日	火	予備日	
9月17日	水	予備日	
9月18日	木	予備日	

試験施工位置図

【位置図等】

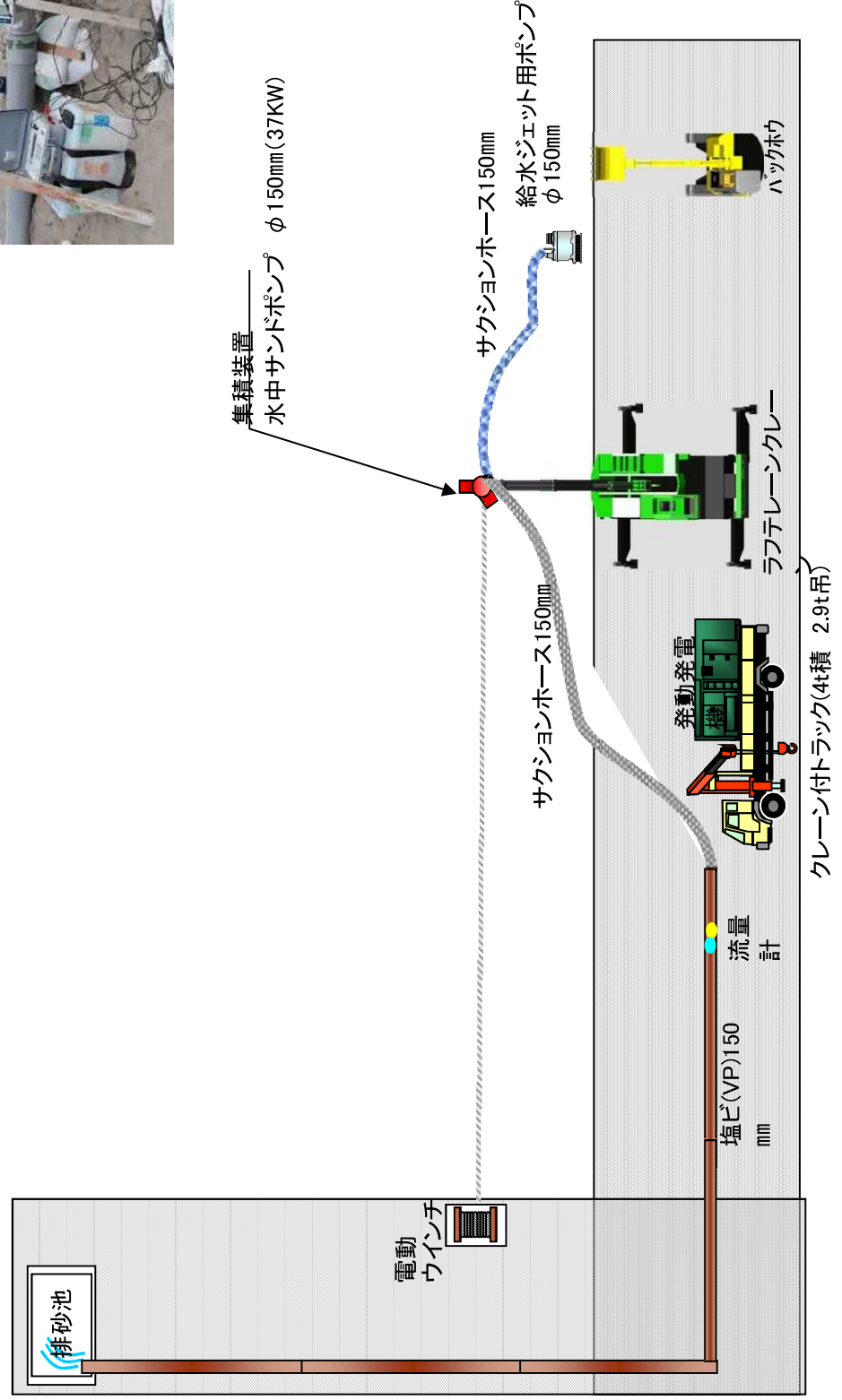


砂水輸送管配管イメージ

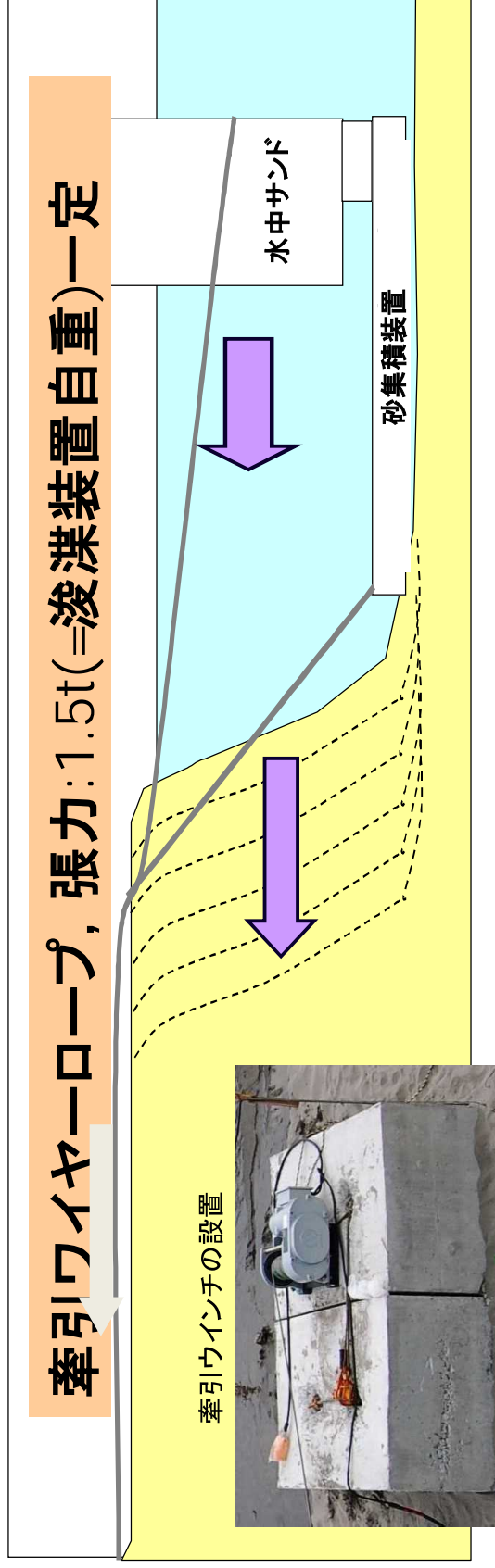


試験施工に必要なとなる資機材の設置・設置状況イメージ3

【計測機器(流量計)設置イメージ】



簡易浚渫装置の移動(牽引)イメージ



※牽引ウインチの固定方法については現場条件を考慮し検討の上、コンクリートブロック等の支給要請がある場合は、監督員に協議すること。